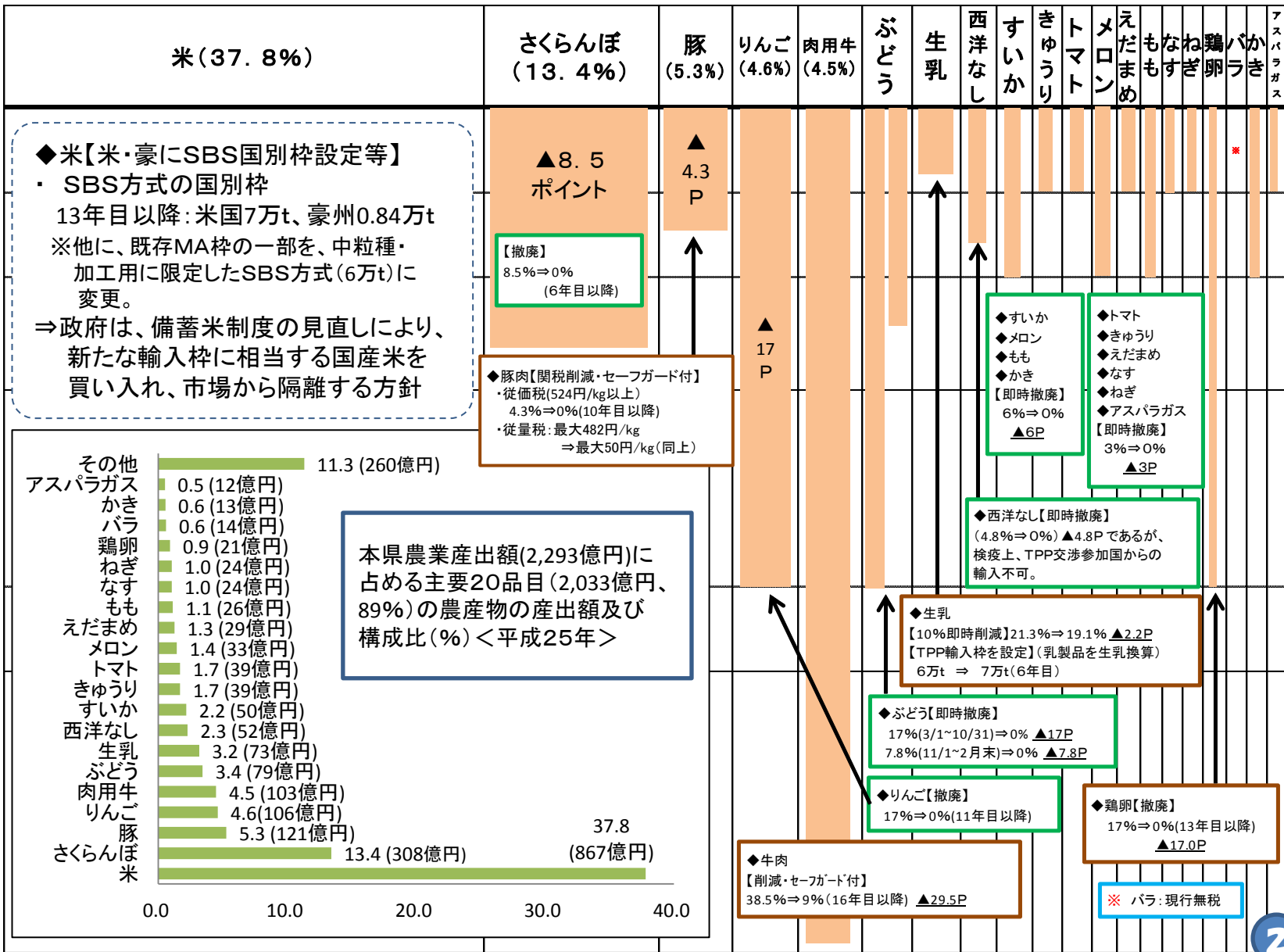


本県の農業産出額に占める主要品目の割合とTPP大筋合意による関税撤廃・削減の関係

本県の農業産出額(H25)に占める割合(%)

関税撤廃・削減分(現行からの減少ポイント)

0
▲3ポイント
▲6ポイント
▲10ポイント
▲17ポイント
▲20ポイント
▲30ポイント



◆米【米・豪にSBS国別枠設定等】
 ・SBS方式の国別枠
 13年目以降:米国7万t、豪州0.84万t
 ※他に、既存MA枠の一部を、中粒種・加工用に限定したSBS方式(6万t)に変更。
 ⇒政府は、備蓄米制度の見直しにより、新たな輸入枠に相当する国産米を買い入れ、市場から隔離する方針

本県農業産出額(2,293億円)に占める主要20品目(2,033億円、89%)の農産物の産出額及び構成比(%)<平成25年>

- その他 11.3 (260億円)
- アスパラガス 0.5 (12億円)
- かき 0.6 (13億円)
- バラ 0.6 (14億円)
- 鶏卵 0.9 (21億円)
- ねぎ 1.0 (24億円)
- なす 1.0 (24億円)
- もも 1.1 (26億円)
- えだまめ 1.3 (29億円)
- メロン 1.4 (33億円)
- トマト 1.7 (39億円)
- きゅうり 1.7 (39億円)
- すいか 2.2 (50億円)
- 西洋なし 2.3 (52億円)
- 生乳 3.2 (73億円)
- ぶどう 3.4 (79億円)
- 肉用牛 4.5 (103億円)
- りんご 4.6 (106億円)
- 豚 5.3 (121億円)
- さくらんぼ 13.4 (308億円)
- 米 37.8 (867億円)

◆牛肉【削減・セーフガード付】
38.5%⇒9%(16年目以降) ▲29.5P

◆ぶどう【即時撤廃】
17%(3/1~10/31)⇒0% ▲17P
7.8%(11/1~2月末)⇒0% ▲7.8P

◆生乳
【10%即時削減】21.3%⇒19.1% ▲2.2P
【TPP輸入枠を設定】(乳製品を生乳換算) 6万t ⇒ 7万t(6年目)

◆西洋なし【即時撤廃】
(4.8%⇒0%) ▲4.8Pであるが、検査上、TPP交渉参加国からの輸入不可。

◆すいか
◆メロン
◆もも
◆かき
【即時撤廃】
6%⇒0% ▲6P

◆トマト
◆きゅうり
◆えだまめ
◆なす
◆ねぎ
◆アスパラガス
【即時撤廃】
3%⇒0% ▲3P

【撤廃】
8.5%⇒0%
(6年目以降)

◆豚肉【関税削減・セーフガード付】
・従価税(524円/kg以上) 4.3%⇒0%(10年目以降)
・従量税:最大482円/kg ⇒最大50円/kg(同上)

◆鶏卵【撤廃】
17%⇒0%(13年目以降) ▲17.0P

※ バラ: 現行無税